

スペインからの留学生クラウディアと、 インタビューを通じて、日本・スペインの異文化交流をしました。

10月28日、本校図書室において、9月から本校に留学しているスペイン出身のクラウディアに、図書委員がインタビューを行いました。クラウディアは、スペイン・アストゥリアス州出身の15歳。9月から1年間の予定で、日本語を学ぶべく留学しています。当初は、なれない日本語に戸惑う様子も見られましたが、今では、すっかり数多くの日本語を身につけて、寒くなってきたこの季節も、自転車通学で全く問題なしといったところです。このインタビューに向けて、クラウディアの内面を聞き出そうと、図書委員がしっかり英語で準備をしてくれました。図書委員の企画として準備しましたので、質問の基本は、「本」に関すること。有名な作家や、話題のマンガ、日本のアニメ文化の認知などもたずねました。終始和やかな雰囲気で行ったインタビューでは、クラウディアの返答は、基本的には英語でした。図書委員たちは、特に大人のヘルプが無くとも、十分に理解していた様子で、大いに感心しました。

以下、少しだけ、その様子を紹介します。

Ques. スペインで一番有名な作家は誰ですか？

Ans. ミゲル・セルバンティスです。グロリア・フォルテスも有名です。



(←筆談も交えました。これは、ミゲル・セルバンティスと書いてもらいました)

Ques. 日本の本を読んだことはありますか？

Ans. ありますよ。スペイン語で書かれてあるマンガですけど。(ドラえもん、イナズマイレブン、Naruto などいっぱい)

Ques. 日本に来たいと思った理由は？

Ans. 文化の違いを学びたかったのと、日本語を学びたかったからです。

Ques. (よく知っている)好きな日本語は何ですか？

Ans. 「カワイイ」「オタク」「ネコ」

Ques. 最近覚えた日本語は何ですか？

Ans. 「思い出せない」です。

Ques. 日本で行きたいところはどこですか？

Ans. 東京、大阪、京都、札幌とか行ってみたいです。

Ques. 好きな日本食は何ですか？

Ans. お寿司 (特に、エビ) やおにぎり、ラーメンが好き。

Ques. 杏和高校の第一印象は何ですか？

Ans. この学校は、「キビシイ」です。



(↑写真は、寿司ネタはどれが好きかを選んでいる様子)

最後に全員で挨拶、MUCHAS GRACIAS (ムーチャス グラシラス) (とてもありがとう)。

クラウディアからも、 De NADA (デ・ナーダ) (どういたしまして)

インタビューを終えて、図書委員の感想

- ・(クラウディアと同じクラスに属しているけど) 普段の学校生活では知ることのできない、クラウディアのいろいろな事を知ることができて、とても楽しい時間でした。
 - ・間違った英文でも、頑張って理解してくれてとても優しくかったです。
 - ・普段外国の人と話す機会は少ないので、本場の英語に触れることができるとてもよかったです。
 - ・日本人とスペイン人の文化の違いを知ることができました。
- (スペインの絵地図と一緒に。左から2番目がクラウディアさん。頑張ってくれた図書委員たち→)

